

# DAY 1

INTERNATIONAL FORUM & WORKSHOP  
2月7日[金] 開場10:30

入場無料  
※チケット不要

## 11:00-17:00 国際フォーラム

同時通訳あり(英・中・繁体字) 会場:びわ湖ホール 3階 研修室

### 障害者の文化芸術国際フェスティバル グランドオープニング 国際フォーラム

#### 文化芸術ユニバーサル・ツーリズムの実現を目指して

登壇者:劉貞鳳(中華民国智障者家長總会 理事長)、久保厚子(障害者の文化芸術を推進する全国ネットワーク 会長)、佐々木桃子(一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 会長)

#### 基調講演 障害者の文化芸術 台湾と日本を俯瞰して

登壇者:林筱婷(中華民國智障者家長總會 主任)

#### 教育から障害者の文化芸術を考える 日本と台湾の事例から

##### ・台湾の高等教育における心身障碍学生支援システム～カトリック輔仁大学を例として

登壇者:趙家佳(カトリック輔仁大学学務部衛生保健組およびソース教室組長)、「深耕・飛翔」学生学習指導推進チーム 委員/特殊教育推進委員会 執行秘書)

##### ・信楽学園 文化芸術プログラムの実践から

登壇者:山邊まみ、坂尻あづき(社会福祉法人グロー 事業担当)

##### ・パネルディスカッション

登壇者:林筱婷、趙家佳、山邊まみ、坂尻あづき

進行:西川賢司(一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 障害者文化芸術[日本博事業]担当/社会福祉法人グロー 専務理事)

#### クロージング 又村あおい(一般社団法人全国手をつなぐ育成会連合会 常務理事/事務局長)

※プログラムの詳細な時間は、決まり次第WEBサイトに掲載いたします。

## 13:00-17:00 ワークショップ

### BUS STOP FILMS(オーストラリア)ワークショップ

2009年より、障害のある人などとともに映画制作を行っています。障害のある人が映画制作を学ぶことで社会性や仕事のスキルを身に着けるとともに、社会の意識改革を目指しています。本ワークショップでは、役者としての参加だけではなく、映画撮影やメイク、衣装などについて学んだり、実際にカメラ撮影や照明、音声などを体验し、ショートフィルムを制作します。

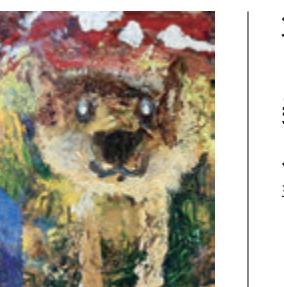
主催:BUS STOP FILMS 協力:日本ダウントン協会 一般社団法人マイノリティ交流協会

同 時 開 催 日時:2月8日[土]、2月9日[日] 会場:中ホール ホワイエ

※ホワイエへの入場には、公演のチケットが必要です。

### 第4回あーと展覧会2024 入賞作品

主催:一般社団法人全国肢体不自由児者  
父母の会連合会



### 第42回(令和5年度) 「肢体不自由児・者の 美術展/デジタル写真展」 入賞作品展示

主催:社会福祉法人日本肢体不自由児協会/  
各道府県肢体不自由児協会



# DAY 2

STAGE PERFORMANCE  
2月8日[土] 開場13:00

鑑賞にはチケットが必要です  
購入方法は最終面をご覧ください

## 13:30-20:30 舞台公演

会場:びわ湖ホール 中ホール

### オープニング [13:30]

#### 「障害者の文化芸術活動を推進する全国ネットワークフォーラム」

### ダウン症のある人のお笑いコンテスト「D-1」グランプリ [15:00]

お笑いで笑うのもお笑いで人を笑わせるのも大好きなダウン症のある人たちのために、吉本の芸人や落語教育家を講師に迎え、「JDS お笑い講座2024」を全国4カ所で開催しました。講義後には参加者がお笑いを作って披露。各会場の優勝者による「D-1」グランプリを本会場で開催します。※D-1の「D」はダウン症・ダイバーシティからとりました。

主催:公益財團法人日本ダウン症協会

### BUS STOP FILMS Presents 映画&トーク Short Film & Cross Talk [15:45]

BUS STOP FILMSがこれまでに制作したもの、裏話、作品の紹介などを同時通訳モダレーターを通して語ります。前日のワークショップの様子のスライドショーを上映。あわせて、これまでの取り組みについてのトークを実施します。

### 障害者の舞台芸術公演 [17:30]

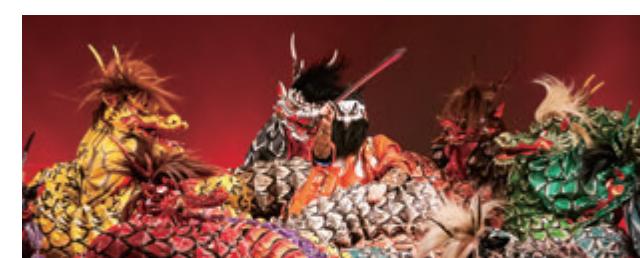
当日のプログラムの順番と時間は決まり次第WEBにてお知らせいたします。

出演者:星星王子打撃樂團(台湾/打楽器演奏)、施翫・施翫(台湾/ハープ&フルート)、桑の木神樂会<社会福祉法人いわみ福祉会>(日本/石見神樂)、瑞宝太鼓<社会福祉法人南高愛隣会>(日本/和太鼓)



#### 星星王子打撃樂團(台湾)

1989年、台湾南部地域の保護者が「高雄市自閉症協進會」を設立。音楽を通じて子どもたちの感情や行動の成長を目指して「自閉兒親子打撃樂團」を結成した。タンバリンや鉄琴などの楽器に触れチームワークを育み、子どもたちの潜在能力を引き出している。2000年、「星星王子打撃樂團」と命名。これまでに数百回の公演実績を誇る。35年間、音楽を通じて子どもたちと世界をつなぎ、勇気と信念に満ちた物語となっている。



#### 瑞宝太鼓(社会福祉法人南高愛隣会)

1985年、桑の木園の利用者と職員が、石見地方に伝わる郷土芸能「石見神樂」を共に楽しむために結成。国内外を問わず積極的に公演活動を行っており、2017年10月にはフランス・ナント市で開催された障害者の文化芸術国際交流事業に参加、代表的な演目「大蛇(おろち)」の公演を成功させた。また2018年12月には長年続けてきたクラブ活動が評価され、障害者の生涯学習支援活動の文部科学大臣表彰を受賞。

# DAY 3

MUSIC FESTIVAL  
2月9日[日] 開場13:00

鑑賞にはチケットが必要です  
購入方法は最終面をご覧ください

## 14:00-16:30 糸賀一雄記念賞第二十三回音楽祭

会場:びわ湖ホール 中ホール

[わた SHIGA 輝く国スピ・障スボ文化プログラム事業]

出演者:湖南ワークショップグループ、近江学園ワークショップグループ、大津ワークショップグループ、「シャイン!!」ワークショップグループ、星星王子打撃樂團(フィナーレのみ)、施翫・施翫(フィナーレのみ)



#### 湖南ワークショップグループ

ナビゲーター:北村成美

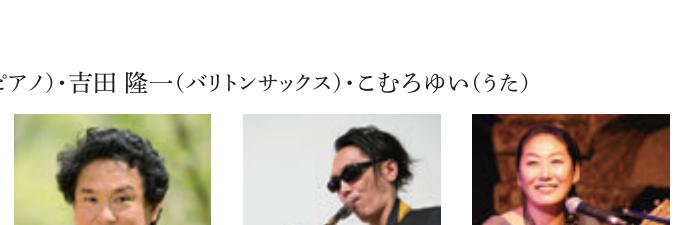
湖南圏域に住む障害のある人と、福祉施設のスタッフ、プロのアーティストが共に作り奏で踊るパフォーマー集団。ダンスによって動きを強制あるいは矯正するのではなく、その人の振る舞いをすべてダンスとして肯定し、響き合い、共生する、ダイナミックな舞台づくりを信条としている。



#### 近江学園ワークショップグループ

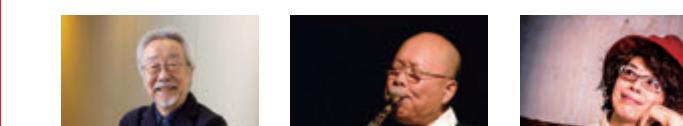
ナビゲーター:中路友恵

近江学園の子どもたちによるワークショップグループです。打楽器合奏やうたを中心とした活動を行っています。ワークショップのメンバーは毎年入れ替わりですが、音楽祭の歴史のなかで生まれ受け継がれてきたものに、一年一年新しいアイデアを加え発展してきました。



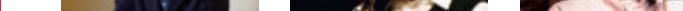
#### 《総合プロデューサー》小室等(フォークシンガー)

坂田明(アルトサックス)・高良久美子(バーカッショhn)・谷川賢作(ピアノ)・吉田隆一(バリトンサックス)・こむろゆい(うた)



#### 小室等&ゲストミュージシャン

2012年、糸賀一雄記念賞第十一回音楽祭より総合プロデューサーを務める小室等と、小室の呼びかけに応じて集結した、音楽祭をトリックスターとして支えるゲストミュージシャン。この音楽祭は、ワークショップのメンバーたちにミュージシャンが交じって奏でることで、歓びの祭りとなる。



#### 糸賀一雄記念賞音楽祭とは

障害福祉の発展に尽力された糸賀一雄氏の思想や心を受け継ぎ、障害者などの生きづらさがある人にに関する取り組みで頗著な活躍をされている個人および団体に贈呈される「糸賀一雄記念賞」とおよび「糸賀一雄記念未来賞」。本音楽祭は同賞の受賞者をお祝いするため、2002年より開催しています。

